

## 国勢調査 2020 国勢調査員を募集します

国勢調査は、国の最も基本的で大規模な統計調査として、大正9(1920)年から5年ごとに実施し、令和2年に行う21回目の調査で、実施100年の節目を迎えます。

国勢調査から得られる統計は、国や地方公共団体が公正な行政を運営するために利用するほか、さまざまな公的統計を作成する上で必要な基礎データとしても利用しています。

また、企業や各種団体でも需要予測や経営管理、学術・研究機関の研究のためなど、さまざまな分野で幅広く活用されています。

**内容** 職務内容=8月から10月の間で調査地域への調査票などの配布、調査書類の提出など  
**▶報酬**=1調査区で3万円程度(世帯数などで異なる)

**対象** 次の全てを満たす人▶20歳以上▶警察・選挙事務に直接関係していない▶調査で知り得た情報の秘密を守り、他の目的に使用しない

**申し込み** 7月1日(水)~22日(水)(土・日曜を除く)9~16時  
 電話連絡をして、印鑑、本人名義の通帳、本人確認書類を市国勢調査事務所(松山市民会館(堀之内)2階第3会議室)へ  
 ※駐車場に限りがあります。公共交通機関を利用してください

☎市国勢調査事務所 948-6209・FAX 932-2408



## 風水害対応図上型防災訓練を行いました

出水期を前に、本市の災害対応能力を高めるため、6月8日・10日、風水害対応図上型防災訓練を行いました。

この訓練は、実災害を想定し、市民などから寄せられる被害や気象の情報などを、災害対策本部員が収集・分析し、総合的に判断して、対応方針を決定するなど、災害時の対処活動を図上で行います。今年も、新型コロナウイルスに対応した避難所開設指示なども訓練しました。

から訓練に臨み、自らの役割や災害対応手順を再確認しました。  
 講評で、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所宮田工務第一課長は、「近年、風水害の危険性が高まっている。日ごろから想定外の事態を想定し、災害が発生したときには今回の訓練を生かして対応してもらいたい」と述べました。  
 ※今回の訓練は、事前の体温測定やマスクの着用、パソコンや電話の消毒など、新型コロナウイルス感染症の感染防止を徹底して行いました



避難情報の発令準備をしている様子

## 土砂災害危険箇所・農業防災パトロールを行いました

梅雨時期は土砂災害の危険性が高まります。市民の皆さんの防災意識を高め、理解を深めるため、6月1日、吉藤五丁目・苞木の土砂災害危険箇所をパトロールしました。  
 また、平成30年の西日本豪雨で農業用施設の被害が多かった地区を中心に、6月1日・2日、農道やため池などの農業用施設をパトロールしました。被災箇所の二次災害を予防し、地域の農業関係者と防災意識を共有しました。



パトロール出発式を開催



ため池点検の様子

☎河川水路課 948 6 5 3 6 ・ FAX 934 1 8 0 9、農林土木課 948 6 5 7 3 ・ FAX 934 1 8 0 8

## 令和元年度ダイオキシン類環境基準などに適合しています

令和元年度に大気・水などに含まれるダイオキシン類を調査しました。全ての測定地点で環境基準に適合していました。

また、ダイオキシン類の自主測定が必要な事業場から報告のあった排ガスなどの測定結果は、全て規制基準に適合していました。  
 測定結果の詳細は、市ホームページに掲載しています。



☎環境指導課 948 6 4 4 2 ・ FAX 934 1 8 1 2

ダイオキシン類環境調査結果(令和元年度)

調査環境	測定結果(年平均値)	環境基準
大気(7地点)	0.0070~0.11	0.6
河川	0.022	1
海域	0.018	1
底質	1.0	150
地下水(1地点)	0.016	1
土壌(2地点)	0.084~3.2	1,000

(単位=大気 pg-TEQ/m<sup>3</sup>、河川・海域・地下水 pg-TEQ/L、底質・土壌 pg-TEQ/g)

## 本市に密着した記事に掲載した3つの冊子を発行しました

NTTタウンページ(株)が本市に密着した記事に掲載した「松山市版タウンページ」と、本市の防災情報や避難所などをまとめた別冊「防災タウンページ」、日常生活に役立つ健康と医療に関する情報をまとめた別冊「健康と医療」を「健康と医療」を発行しました。  
 市内の世帯・事業所に幅広く配布されます(6月初旬から配布し、6月中旬には配布完了予定)。



松山市版タウンページ



防災タウンページ



健康と医療

☎防災・危機管理課 948 6 8 1 5 ・ FAX 934 1 8 1 3